

## 高橋周三郎君 逝去

布施修一郎(6組)

10月15日に高橋周三郎君(8組、小諸市在住)が特殊な腸閉塞により逝去されました。告別式が10月23日に小諸市八幡町の小諸愛昇殿で執り行われ焼香して参りました。

高橋君は高校2年の時、都内の高校から転校転入してきたこともあってか高校時代は全くお互いに面識がなかったのですが、私が海上自衛隊に歯科医官として勤務していた際に防衛庁内の衛生関係者の集まりの席で、後輩歯科医官から上田高校出身の歯科医官が陸上自衛隊にいと紹介されたのが初対面でした。65期生であることが分かり、名刺交換をすると、肩書きに歯科医師・経済学士とありますので聞きましたところ、早稲田大学の政治経済学部を卒業後、九州歯科大学に入学し歯科医師になったとのこと。その後、時々都内で飲食を共にしたこと数回、小諸で新規開業されたのと私が上田に帰って歯科医院を継承したのが同じ昭和58年だったこともあり、上田にて時々飲んだのはだいぶ前のことだったと思います。



歯科医師会の研究発表では、「歯の被せ物に対する保険の点数は妥当か」というような内容のテーマでいかにも経済学部出身者らしいユニークな報告をされたのを覚えています。また、同期会の出欠案内は真っ先に出席と返信してくれていました。その後、県の歯科医師会の集まりで会う度に言葉をかわしていたのですが、最近は会うことがありませんでした。72歳の年男時のニューイヤークエーサーで県歯科医師会の会報に、毎年奥様と楽しく海外旅行を満喫している内容の投稿があり、元気にしているんだなと思っていましたが、こんな突然に亡くなるとは思っていませんでした。

高橋周三郎君、安らかに眠って下さい。  
合掌